

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

いけだ

No.163

いけだ市議会だより

平成31年(2019年)2月1日



平成31年 池田市成人の集い

12月定例会 …… 2

意見書 …… 3

議会日誌 …… 3

一般質問 …… 4

委員会レポート …… 10

議決結果 …… 12

やまばと …… 12

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



12

月定例会



12月定例会は、12月6日に開会し、市長から議案23件と人事案件1件が提出され、本会議及び委員会と審議を行い、いずれも可決・同意しました。また、9月定例会で閉会中の常任委員会に審査付託した平成29年度決算8件についても認定しました。

12月20日・21日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、14人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案8件を審議し、いずれも原案どおり可決し、12月定例会を閉会しました。

猪名川運動公園の使用料を改定

都市公園運動施設条例を一部改正し、猪名川運動公園の使用料を一部変更します。

今回の変更は、市内の青少年やシニアの団体クラブ等からの要望を受けて、すでに使用料の減免規定のある他のスポーツ施設と同様に、猪名川運動公園の使用料を5割減免とするものです。対象者は猪名川運動公園を使用する市内住民等のうち、小人（15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）、満70歳以上の者及び障がい者、かつ、それらの方が7

割以上所属する市内団体等です。審議の中では、他市の状況やこれまで実施しなかった理由、使用料減収に伴う利用率向上策等について質疑を行いました。全会一致で可決しました。

池田市民文化会館などの指定管理者が決定

平成31年3月末で指定期間が満了となる池田市民文化会館及びカルチャープラザの指定管理者について、平成31年4月1日から10年間の指定管理者として一般財団法人いけだ市民文化振興財団が指定されました。

池田市民文化会館及びカルチャ

ープラザは、これまで3期にわたり、同財団が指定管理者として指定されています。

審議の中では、指定期間を5年間から10年間に延長すること、事業者の権限を強め、議会のチェック機能を弱めることになる。また、長期化によって事業のマンネリ化を生むことにもなる。5年目に厳しい中間評価があるとはいえず、よほどの問題が生じない限り、継続されることが予測され、マンネリ化を払拭することにはならないと考える。雇用の安定や専門家の育成を図りたいのであれば、市直営に戻すべきである。との反対意見がありました。

一方、同財団は、市直営のころから行っている音楽に関する自主事業も継承したいしており、これまでの5年ごとの評価でも高得点を収められている。また、音楽だけでなく、落語も群を抜いた自主事業になっている。今回、指定期間を5年から10年にしたことにより、市民文化向上のための、同財団内における人材育成などを挑戦的に進めるようになるため賛成する。との賛成多数で、可決しました。

葬祭場の指定管理者が交代

平成31年3月末で指定期間が満了となる葬祭場の指定管理者について、平成31年4月1日から5年間の指定管理者として特定非営利活動法人関西KIDSコミュニティ協会が指定されました。

これに伴い、指定管理者がいけだサンシー株式会社から同団体へと交代することになります。

審議の中では、子育て支援活動を行っているNPO法人が、今の体制で五月山児童文化センターの運営を行いつつ、全く趣旨の違う葬祭場の管理を行うことになって、いずれも中途半端な運営になるおそれがあり、市民サービスの維持や、事業の安定性に不安が残る。との反対意見がありました。

一方、今回の候補者の選定経過を見ると、指定管理料に大きな差があることや、市営葬儀の回数をふやす工夫も具体的であることなどから、選定評価委員会が公平・公正に選定されたと認識している。今後、市営葬儀をしっかりと引き継いでいただくとともに、同団体の本来の目的である青少年育成事業がより促進されることを期待し賛成する。との賛成多数で、可決しました。

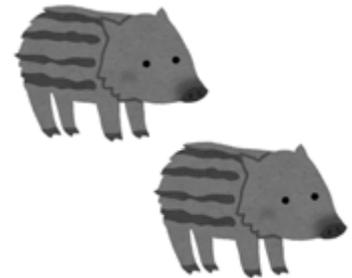
意見書

12月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○幼児教育・保育の無償化に関する意見書

石橋小金管クラブによる 議場コンサートを開催

市民により身近に議会を感じてもらい、議会を傍聴いただくきっかけになればと、12月定例会の最終日に議場コンサートを開催しました。石橋小学校金管クラブの児童が演奏し、約100名の市民、保護者が鑑賞しました。



議会の予定

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

2月25日(月)	本	会	議
3月4日(月)	本	会	議
3月6日(水)	本	会	議
3月8日(金)	委	員	会
3月11日(月)	委	員	会
3月12日(火)	委	員	会
3月13日(水)	委	員	会
3月25日(月)	本	会	議

議 会 目 誌

12月	11月	10月
12月5日 市議会たより編集 特別委員会	11月1日 市議会たより編集 特別委員会	10月3日 決算説明会
12月4日 各派代表者会議 議会運営委員会	11月7日 空港・交通問題調査 特別委員会	10月16日 土木消防委員会
1月17日 市議会たより編集 特別委員会	11月21日 市議会定例会	10月23日 厚生委員会
1月10日 市議会たより編集 特別委員会	12月21日 市議会定例会	10月25日 文教病院委員会
	議会運営委員会	10月29日 総務委員会
		12月20日 各派代表者会議 議会運営委員会
		12月13日 総務委員会
		12月12日 文教病院委員会
		12月11日 厚生委員会
		12月10日 土木消防委員会
		12月6日 市議会定例会



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は14人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをただしました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 本年の自然災害の教訓をどう生かすか
(市民クラブ)

本年、多くの自然災害が池田市を襲った。今後、この経験をどのように生かそうと考えるのか問う。

答 市を挙げて情報伝達の強化に取り組む

市民への情報伝達や、停電時における対応が不十分であったと考えている。この教訓に基づき、従来からの市HPや広報車等に加え、SNSや防災行政無線の活用による情報伝達の強化に取り組む。



問 災害時の避難行動要支援者対策について
(自民同友会)

要支援者名簿活用状況、地域避難支援協議会立ち上げの現状及び要支援者支援システムの導入について、見解を問う。

答 地域避難支援協議会結成を呼びかけていく

平常時の名簿提供に同意した要支援者の名簿を、地域避難支援協議会に提供している。この協議会は現在2小学校区で結成されているが、必要性が高いことから今後未結成の小学校区を対象に結成を呼びかけていく。また、要支援者支援システムは非常に効果的なものと考えているので、具体的な導入計画について、地方債の活用

等も含め、財政状況を勘案しながら早期導入に向けて取り組む。

問 災害時におけるペットの居場所は
(自民同友会)

環境省発行のガイドラインに基づき、ペットの救護対策において、ペットと同行避難する避難者に向けた救済マニュアル策定の必要性を感じる。また、獣医師との連携によるペットの救護所やペット用フードなど備蓄品に対する方針は、

答 ペット専用場所の確保や飼育者名簿を作成

避難所運営マニュアルにおいて避難所開設時に適切な対応ができるよう努めている。また、大阪府と獣医師会は災害時における動物愛護等の活動に関する協定を締結しており、ペットの備蓄品や避難用品には環境省のガイドラインで飼い主が確保するものと明記されている。



問 災害増加に対し消防力強化に必要なことは
(市民クラブ)

毎年発生する自然災害に消防の重要性は増しているが、消防力強化に向けて必要となることを問う。

答 各出局・他自治体との連携強化が必須

災害対応は、各出局・他自治体・消防本部等との連携強化が必須である。また、財政状況を勘案しながら消防職員、消防車両及び資機材の充実強化を図ることも必要と考えている。

問 自然エネルギーの促進を
広域で行えないか
(市民クラブ)

この夏、大雨・猛暑・台風が猛威を振るい、その原因は地球温暖化ではないかと言われている。池田市・豊中市・箕面市・豊能町・能勢町の3市2町の圏域で太陽光発電や風力発電などの具体的な自然エネルギーの促進を行っていけないか。

答 広域で自然エネルギーをつくり使っていく

箕面市の北部や豊能町・能勢町には多くの山林・空き地があるの

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

1	倉田	晃	(自由クラブ)
2	西垣	智	(自由クラブ)
3	荒木	眞澄	(公明党)
4	三宅	正起	(市民クラブ)
5	富田	裕樹	(大阪維新の会池田)
6	中田	正紀	(市民クラブ)
7	小林	義典	(自民同友会)
8	石田	隆史	(大阪維新の会池田)
9	馬坂	哲平	(公明党)
10	浜地	慎一郎	(自民同友会)
11	小林	吉三	(日本共産党)
12	白石	啓子	(日本共産党)
13	藤原	美知子	(日本共産党)
14	渡邊	千芳	(市民クラブ)

(※質問順)

大阪万博の開催が決定したが、会場予定地は、関空同様の埋め立て地で、大地震や大型台風が直撃すれば冠水被害や陸の孤島化、液化の危険がある。その上カジノは賭博行為であり、ターゲットは池田市民であり府民である。利用者を借金漬けにし、ギャンブル依

問 万博にカジノ誘致は市民に悪影響ではないか
(日本共産党)

で、3市2町で協議し、将来的には太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーをつくり、圏域内で融通し合えるような仕組みができればよいと考えている。

万博誘致が決定したので、それに伴い夢洲に交通網の整備などいろいろ出てきているが、カジノが必要かどうかはまだまだ協議が必要であり、市長会を通じて慎重な対応を求めている。

答 カジノは未定であり慎重な対応を求めたい

存症をふやすカジノ誘致に、市長会をあげて反対すべきではないか。



問 地域集会施設の見直しについて
(自由クラブ)

池田会館とコミセンの統合を検討中。今後は、施設老朽化の現状や多様化する行政ニーズへの対応のため、他の公共施設を含めた見直しが必要と考えている。

答 その他の公共施設も含めて見直しを進める

問 今こそ、投票環境の向上を図るべき時では
(公明党)

明年は12年に一度の亥年の選挙と、秋の府知事選や12月予定の池田市長選挙も控えていることから、今こそ、有権者のために、投票環境の向上を図るべき時ではないかと考えるが、見解を問う。

答 明年3月に条例改正を提案早期実施を検討

投票率を上げる努力と期日前投票の充実の必要性は認識している。昨年の衆議院選挙の経験を踏まえ、できれば、石橋と池田の2カ所为期日前投票を行うことが望ましい

が、それまでの方策として、時間延長を検討しているが、条例改正が必要であるため、3月に提案し、早ければ4月の選挙に間に合うように検討する。

問 石橋プラザの市民サービスコーナー復活を
(日本共産党)

証明書類のコンビニ交付は、マインバーカードが必要だが、その普及率は14%にとどまっている。石橋プラザの取り置きサービスを含め、市民サービスコーナーで年間約1万件の利用が4分の1に減っており、サービス低下となっているため、休日も利用できる石橋の市民サービスコーナー復活を。

答 石橋駅前会館の建てかえ時に検討する

建てかえ後の石橋駅前会館は、期日前投票所を設置予定であり、そのネット環境と市民サービスコーナーに要するものが同一であれば、拠点施設として検討を加える。



池田版DMOの進捗と観光協会との差別化は
(大阪維新の会池田)

池田版DMOは自立自走が目標。その収益状況と、池田市観光協会との差別化を問う。

割引券付チラシ以外の収入源について検討

割引券付チラシをラック配架とスタッフの手渡しで実施。しかし現状の広告収入だけでは経営は難しく、新しい収入源を検討する。観光協会は市と連携し、観光振興の中核を担ってきた。同協会と池田版DMOは連携して、観光客を誘致し、地域の活性化を目指す。

LEDを活用した新たなにぎわい創出を
(公明党)

市の玄関口の一つである池田駅周辺に、本市の特色をLEDイルミネーションで表現し、新たなスポットを創造することにより、一つの新たなにぎわい創出が図られるのではないかと考えるが。

街のにぎわい創出に努めたい

まちの顔とも言える「てるてる広場」及び池田駅周辺は、冬場は

イベントも少なく「にぎわい創出」の必要性を感じていたところ。来年度の市制施行80周年記念事業の一環として、冬の街に彩りと華やかさを演出し、訪れた人を温かく迎え入れるべく、LEDイルミネーションも含めて、街のにぎわい創出に努めたい。

**エリアマネジメント
負担金制度導入について**
(自由クラブ)

地域再生エリアマネジメント負担金制度を、石橋駅周辺の商業地域に取り入れた場合の効果と課題について問う。

団体の財政基盤の安定化を図ることが出来る

この制度を導入した場合の効果は、市が事業者から負担金を徴収し、交付金として交付することにより財政基盤の安定化が図られる。課題は、地域内の事業者の3分の2以上の同意が必要なことである。



いけだピアまるセンターの活用は
(自由クラブ)

改修工事は今年度中に完了予定。完成後の活用方法は。

**インキュベーターカフェ等
創業促進につなげる**

創業者たちが集うインキュベーターカフェを新設予定で、コワーキングスペースとしての運用のほか、ビジネスセミナー、ワークショップ等のイベントの開催を検討中。

女性の就労支援について
(大阪維新の会池田)

男女共生社会の実現に向けて、女性が働きやすい職場環境を整える必要がある。高齢者、障がい者ひとり親家庭の親など、女性を含む就労支援を強化すべきだが、見解を問う。

重要な課題だと認識している

相談支援センター、就労支援センター、デザイナーの職業訓練の取り組みを強化していく。

母子・父子家庭の就労支援について
(大阪維新の会池田)

複雑な課題を抱えるひとり親家庭に対し就労支援を含めた支援策の拡充を図るべきだが見解を問う。

本市の拡充策を検討していく

国のひとり親家庭の支援政策を踏まえながら検討していく。

**スクールバス停に
屋根の設置を**
(日本共産党)

小学校の通学は歩いて通えるのが本来の通学である。旧細河小学校の子どもたちも秦野小学校や他の小学校の子どもたちと同様に歩いて通学していたが、細小と伏小の統廃合により伏尾台にある小中一貫校はさう学園にスクールバスで通学しなければならなくなつた。学園前のバス停で順番にバスを乗りおろすが、特に雨天時はランドセルを背負い、手荷物を持つて傘を開く間もなくおろるため、濡れたまま授業を受けている。バス停に屋根の設置を求める。

**教育委員会の
要請があれば実施**

教育的配慮として検討し、要請があれば、いくらお金がかかっても予算措置する。

**公立幼稚園の
3歳児保育実施に対する見解は
(市民クラブ)**

2019年10月から幼児教育・保育が無償化される。現在、公立幼稚園では3歳児の保育は実施されていないが、公立幼稚園のあり方について、見解を問う。

**プロジェクトチームを
立ち上げ議論している**

幼児教育・保育無償化の実施で、3歳児に新しい保育ニーズが生まれると予測している。次世代を担う子どもたちへ質の高い幼児教育を提供することは、公教育の責務であると考え、公立幼稚園での3歳児保育の実施に向けて、プロジェクトチームを立ち上げ、現在議論を進めている。



**小学校卒業式における
適切な服装について
(大阪維新の会池田)**

小学校卒業式において、はかまや着物を着て出席する児童を少なからず目にするが、華美な服装について、見解を問う。

**華美になり過ぎない旨
保護者へ協力をお願い**

本市では、服装の華美が極度に加熱している現状にはないと認識している。児童が厳粛で清新な気持ちで卒業式に臨めるよう、適切な服装の着用を保護者をお願いしている。

**支援学級などへの
タブレットの導入は
(市民クラブ)**

学習アプリを障がいのある子どもたちに有効に使う機会を与えるために、ぜひ小中学校の支援学級と通級指導教室にタブレットを導入すべしと考えるが、見解を問う。

**より有効な教育効果が
期待できると認識**

現在、タブレット型PCについては小学校に各20台、中学校に各40台整備し、多様な学習形態に対応できるようICT環境の充実を

図っている。

支援教育においても、それぞれの子どもの特性に合わせたアプリやプログラムが開発され、タブレット型PCを活用することで、より有効な教育効果が期待できると認識している。タブレット型PCの追加整備についても検討する。

児童生徒による

**校内へのスマホの持ち込みは
(自民同友会)**

大阪府教委が来春から府内小中学校に通う児童・生徒のスマホの持ち込みを容認した。防犯や災害対応の一環だと思うが、授業中の操作やネットいじめの助長にならないようガイドライン策定の必要性を感じる。また、スマホを持たない児童・生徒への配慮も必要だと考える。

**原則禁止の方針は維持し
家庭と連携する**

家庭や学校が混乱を来さないようスマホの取り扱いに係るガイドラインの早急な策定と周知が必要であると考えている。登下校時に被災した場合の対応や情報モラルなどの教育の充実を図る。

**子どもの居場所づくりについて
(自由クラブ)**

放課後等の児童の居場所について、現状の課題と今後の対応は。

**子どもたちの居場所づくりの
充実を図る**

本市では、国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、キッズランドと留守家庭児童会を一体型で事業展開し、子どもの居場所を提供している。これからも子どものニーズに合わせた居場所の確保が課題と認識。今後も留守家庭児童会・キッズランド・学校・地域・市長部局が連携して子どもたちの居場所づくりの充実を図る。



問 教員負担軽減のため
35人学級を小中全学年に
(日本共産党)

教員の長時間勤務が問題となっている。負担軽減のためにも教育効果を認めている35人学級を小中学校全学年に拡充すべきでは。

答 業務全体の見直しで
事務の負担を軽減

出退勤管理システムを試行し、働き方プロジェクトでも対策検討。

問 スポーツセンター改修時
共用使用の代替を
(日本共産党)

共用使用は手軽にスポーツを楽しめ、市民が交流できる場として休館中も実施をとの要望が強い。体育施設の調整で実現できないか。

答 五月山体育館・学校施設も含め
厳しい状況

五月山体育館・学校施設を含め代替の検討をしているが、団体の専用使用だけでも厳しく、理解を。



問 図書館と商店のコラボで
駅周辺の活性化を
(市民クラブ)

池田駅前サンシティの3階に移転する図書館と各店舗がコラボして、池田駅前南会館では図書館まつりや本に登場する食事の会などを、また、ゴリラ前広場を整備して絵本を中心とした販促イベントなどを開催し、池田駅周辺の活性化につなげていけないか。

答 池田駅前南会館と
ゴリラ前広場を有効に使う

今回の駅前図書館は子育て世代や青少年をターゲットにしているので、それにふさわしい店舗に出店してもらえよう協議をしている。その中でせせらぎモールなどを整備したゴリラ前広場及び池田駅前南会館を有効利用して、池田駅周辺の活性化を図りたい。

問 図書館移転後の
歴史民俗資料館の運営は
(大阪維新の会池田)

図書館本館に隣接している歴史民俗資料館の今後について問う。

答 図書館移転後も
当面現在地で運営する

当面、現在地で運営するが、今後については、本市の社会教育施設整備の中で検討する。

問 退院後の服薬指導を
薬剤師会と連携しては
(公明党)

退院後の重篤化の7割超が薬に由来しているとの報告がある。きめ細やかな服薬指導を地域の薬局・薬剤師と連携して推進すべきと考えるが。

答 薬剤師会と連携し
服薬管理支援に協力

地域の薬剤師との連携や「お薬手帳」の活用方法などについても協議を行い、地域医療や在宅看護との連携を進めていく。

問 健康ポイント制で
健康増進と社会活動推進を
(公明党)

市民が、自らの健康増進に取り組む姿勢や意欲を応援するとともに市民活動への積極的な参加を促すポイント制度を創設しては。

答 健康ポイント制の
制度創設を検討する

各種健診の受診率向上等を目指す健康ポイント制度は有効と認識する。制度創設を検討する。

問 がん検診を無料にし
受診率向上で健康都市に
(日本共産党)

池田市は、住民健診や特定健診の受診率が高い自治体だが、各種がん検診に関しては府内でも低い受診率にとどまっている。検診費用が高いことも原因ではないか。特定健診同様、がん検診も無料で受診できるようにしてはどうか。

答 医師会と協議の上
受診者負担の減額を検討

がん検診の受診率は近隣市と比較しても低い。受診者負担額が高額であることも一因であると認識している。受診率の向上は医療費の抑制につながるため、費用の減額、検診の普及啓発など、医師会と協議しつつ、財政状況も見ながら検討したい。人間ドック等の受診率も把握し、一定の支援を検討。

問 独居老人支援について
(大阪維新の会池田)

ひとり暮らしの高齢者支援の強化を図るべきだが、見解を問う。

答 今後さらに支援の強化を
図っていく

現行サービスのレベルを維持し、引き続き高齢者の支援に努める。

**18歳までの
医療費無償化について**
(大阪維新の会池田)

18歳までの医療費無償化の実現を要望するが、見解を問う。

答 財源確保を含め検討していく

数年以内をめどに18歳までの拡充に向け検討していく。

**市内公共交通の
今後のあり方について**
(自民同友会)

公共交通の課題をどのように考えているのか。また、今後の方向性はいつごろまでに出そうと考えているのか、見解を問う。

**答 平成31年度末に
一定の方向性を示したい**

施設循環福祉バスや路線バスとの競合が課題であり、双方の連携及び利用のあり方の検討が必要である。また、行政と民間事業者の適切な役割分担で市域全体の公共交通の維持、活性化及び不足エリアへの対応を行う必要があるため、連携して新たな仕組み及び積極的な利用の促進を図り、移動困難となる高齢者等の対応から進めることが重要であると考えている。

**伏尾町の歩道の
改修工事はいつ**
(日本共産党)

国道423号線沿いの改修工事のため、迂回路が開通して1年以上たつが、工事を行っている様子はない。70歳代の住民から「伏尾町に来て10年余り、自転車での快適な走行を待ちこがれているが、不死王閣付近のバリアフリーロードの改善は一向に見られず、車道

**答 府によると
平成33年3月末に完了予定**

平成31年1月に着工、平成33年3月末に完了予定と聞いている。

**石橋駅周辺の
整備計画について**
(自由クラブ)

今後の石橋駅周辺の整備計画について問う。

**答 駅前のにぎわい創出等を
図っていく**

石橋地域拠点施設を整備するとともに、今年度施工予定の石橋駅

東口の道路整備事業のほか、今後商店街や西口路地等も道路美化を計画している。

**井口堂公園・二子塚古墳の
今後の整備を問う**
(公明党)

能勢街道の石橋地区の起点となっているのが二子塚古墳であり、市外からの来訪者が年々ふえていくので、整備が必要ではないかと考えるが、見解を問う。

**答 石橋駅整備計画にあわせて
整備を進める**



**今井水路及び箕面川の
整備計画について**
(自由クラブ)

昨年の夏、約2か月間今井水路に水が流れていない期間があったが、今後の対策について問う。

答 大阪府と協議し検討していく

7月の豪雨や大型台風により、箕面川から今井水路に流入させるために積んでいる土のうが崩れ、今井水路の環境悪化を招いた。現在、箕面川から今井水路への効率的な引き込み方法を大阪府と協議しながら検討していく。

**生産緑地制度改正について
今後の進展は**
(市民クラブ)

生産緑地制度の改正に伴い、面積要件緩和がなされるとのことであるが、これからのタイムスケジュールについて問う。

**答 今後、3月議会に上程し
4月施行を目指す**

300㎡に面積要件を引き下げる条例制定に向けて取り組んでいる。今後、パブリックコメントを行い、その後3月議会に上程し、4月施行を目指す。

委員会 レポート



12月定例会では、23件の議案を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

12月20日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された23件の議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

問 防災備蓄倉庫の設置場所は市役所の近くにすべきでは

〈一般会計補正予算〉

防災備蓄倉庫等整備事業に係る債務負担行為補正は、防災備蓄倉庫を土砂災害警戒区域に指定されている旧細河小学校跡地に設置するものである。

万一、当該地域で土砂災害が発生すれば、建物はなぎ倒され、交通網も遮断されるおそれがあり、防災備蓄倉庫の設置場所については、災害対策本部が設置される市役所に近い場所に設置すべきであると考えます。

設置場所の見直しについて、見解を問う。

答 被災地に近い場所よりも周辺からの支援が有効

過去の震災被害から考察すると、支援活動は、被災地に近い場所よりも、被災地の周辺から行うほうが有効に支援できる。

したがって、防災備蓄倉庫は、災害対策本部が設置される市役所の近くよりも、多少遠くても、比較的被害が少ないとされる地域に設置するほうがよいとの考えから、

旧細河小学校跡地を選定した。

また、当該地は、大阪府の広域緊急交通路である国道423号線に面しており、国道173号線の分岐点や、阪神高速道路池田線、新名神高速道路のインターチェンジにも近く交通アクセスもよい上、既存のグラウンドを活用することで、トラックの待機場所の確保や、トラックの待機に伴う交通渋滞の発生も防ぐことができる。



問 いけだサンシー株式会社の今後の事業展開は

〈各施設の指定管理者の指定〉

現在の葬祭場の指定管理者であるいけだサンシー株式会社は、次の葬祭場の指定管理者候補者に選定されなかったが、今後、まちづくり会社として、どのような事業展開をされようとしているのか。

答 自立精神をもち会社運営を行えるよう協議を重ねる

いけだサンシー株式会社は、当初、まちづくり会社として創立されたが、現在は、主に市営葬儀の運営に特化している現状である。

今後は、改めて民間会社として自立精神をもって会社運営を行っていきけるようになることが重要だと考えているので、いけだサンシー株式会社と将来展望について、協議を重ねていきたい。



文教病院委員会

問 新しい図書館にも
自習室は必要では

〈動産の取得〉

現図書館には自習室があるため、新しい図書館にも設置してほしいという要望が多い。

子どもたちのためにも勉強できるスペースは必要であると考え、見解を問う。

答 自習室の設置は難しいが
多目的スペースの開放を検討

新しい図書館は市民が交流できる図書館を目指しており、そのための活動や図書館の行事を行うためには、多目的スペースが必要であると考えている。

したがって、フロアスペースの問題から自習室を設置することは難しいが、多目的スペースが空いている平日の放課後などの時間帯については、自習室として開放することも検討していきたい。

また、現図書館は12月で閉館するが、自習室については、今年度は引き続き利用できるようにしたいと考えている。

厚生委員会

問 障がい児通所支援事業の
サービスの質の確保は

〈一般会計補正予算〉

今回補正予算が計上された障がい児通所支援事業は5つのサービスから構成されているが、その主なサービスとそれが主になる理由について問う。

また、主になるサービスの利用者が想定外に増加すると、提供されるサービスが低下するのではないかと危惧するが、見解を問う。

答 指導への同行や研修会の開催で
サービスの向上に努めている

障がい児通所支援事業の中でも放課後等デイサービスが主なサービスとなっており、対象年齢の幅が広く、その結果、予算に占める割合が非常に高くなっている。

また、府の所管となっている放課後等デイサービスを提供する事業所への指導には、本市職員も同行し、施設の質の維持に努めるとともに、研修会などを開催して療育内容の情報交換を行い、サービスの向上にも努めている。

土木消防委員会

問 猪名川運動場の使用料減免を
5割減免とした理由は

〈都市公園運動施設条例の一部改正〉

本条例の改正は、小人、満70歳以上の者及び障がい者が猪名川運動場を使用する際の使用料を新たに設定するものであるが、条例改正に至った経緯と、使用料を5割減免と定めた理由について問う。

答 市内他のスポーツ施設との
均衡を図るため同様に設定

青少年やシニア等のスポーツ団体から利用料の減免を求める要望を受け、青少年の健全育成、高齢者の健康増進、障がい者のスポーツ活動の促進を図る観点から、今回の改正に至ったものである。

また、五月山体育館や総合スポーツセンターにおいても、15歳以下、高齢者及び障がい者は、使用料の5割減免を行っており、市内他のスポーツ施設との均衡を図るため、猪名川運動場使用料においても同様に定めたものである。

問 池田みどりスポーツ財団の
指定期間が1年である理由は

〈各施設の指定管理者の指定〉

一般財団法人池田みどりスポーツ財団が指定管理を受けている全ての施設の指定期間が1年とされている理由と指定管理者の選定の方向性について問う。

答 マネジメント方針を策定し
改めて指定管理者を公募するため

平成31年度に五月山緑地マネジメント方針策定業務を実施する予定であり、その結果を待って、平成32年度以降の指定管理の範囲を決定したいと計画しているため、今回は指定期間を1年間と定めたものである。

また、現在の池田みどりスポーツ財団との契約では、指定管理事業と補助事業の範囲が曖昧であることから、財団においても、民間事業者としてマネジメントができて自立していける事業者となるよう検討委員会を設置し、努力しているため、その結果をもって、さらに市民サービスの向上を目指した施策が提案できる業者の選定を改めて実施したいと考えている。

○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
平成 29 年度池田市病院事業会計決算の認定について	認 定(全員異議なし)
平成 29 年度池田市水道事業会計決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	認 定(全員異議なし)
平成 29 年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(全員異議なし)
平成 29 年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定(賛 成 多 数)
池田市都市公園運動施設条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市と大阪広域水道企業団との間における豊能町に係る水道事業に関する事務の委託に関する協議について	原案可決(全員異議なし)
池田市・豊能町上水道に関する事務の委託の廃止に関する協議について	原案可決(全員異議なし)
池田市立くすのき学園新築工事請負変更契約の締結について	原案可決(全員異議なし)
動産の取得について	原案可決(全員異議なし)
池田市立公益活動促進センター指定管理者及び池田市立男女共生サロン指定管理者の指定について	原案可決(賛 成 多 数)
池田市立石橋会館指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立くすのき学園指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立敬老会館指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立養護老人ホーム白寿荘指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立葬祭場指定管理者、池田市立桃園墓地指定管理者及び五月山霊園指定管理者の指定について	原案可決(賛 成 多 数)
都市緑化植物園指定管理者、池田城跡公園指定管理者、五月山緑地駐車場指定管理者、五月山動物園指定管理者及び五月山体育館指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
猪名川緑地駐車場指定管理者及び猪名川運動場指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
テニスコート指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立水月児童文化センター指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立児童館指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立総合スポーツセンター指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市民文化会館指定管理者及び池田市立カルチャープラザ指定管理者の指定について	原案可決(賛 成 多 数)
池田市立ギャラリー指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
池田市立3R推進センター指定管理者の指定について	原案可決(全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同 意(全員異議なし)
平成 30 年度池田市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
平成 30 年度池田市財産区特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
平成 30 年度池田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(賛 成 多 数)
人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(賛 成 多 数)
平成 30 年度池田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(賛 成 多 数)

市議会だより編集
特別委員会

委 員 長	内 藤 啓 子
副 委 員 長	白 石 勝 子
委 員	西 垣 智 子
委 員	小 林 義 典
委 員	多 田 隆 一
委 員	中 田 正 紀
委 員	石 田 隆 史

やまばと

市民の皆様には日頃から市議会へのご理解とご協力、ご意見を賜り、誠にありがとうございます。

昨年10月から始まったNHK朝の連続テレビ小説「まんがく」もいよいよ佳境に入り、本市に舞台が移りました。チキンラーメンも登場し、観光振興もますます活気づくことでしょう。

さて、12月定例会では、石橋小学校金管クラブの皆さんによる議場コンサートを開催しました。これは市民に親しみやすい議会を目指した催しです。総勢約70名の児童による演奏は迫力があり、傍聴席からは惜しみない拍手が送られました。

本年は4月に統一地方選挙、7月に参議院選挙、そして年末には知事選挙、市長選挙が予定され、慌ただしい日程が続きます。そして、5月に改元も実施され、市民生活の大きな節目となります。

東京五輪を翌年に控え、その準備に追われる年になりそうですが、市議会の権能を十分に発揮し、市政の速やかな遂行に努めます。

これからも委員一同、市議会の審議内容をわかりやすくお伝えできるよう編集に努めますので、どうぞご愛読頂きますようよろしくお願い申し上げます。